

第 11 回議会報告会 報告書

地域名	西谷地区		
年月日	平成 26 年 11 月 5 日 (水)	会場名	西谷公民館
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参加数	男 7 人	女 2 人	合計 9 人
班 長	西村禮治	司会者	西村禮治
報告者	勝地貞一	書記	全員
班員名	西村禮治、勝地貞一、寺田耕司、吉井 稔		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①ケーブルテレビの民間化でどうなるのか。</p> <p>②天滝の観光客誘致に取り組んでいるが、入込客が増えているとは思えない。</p> <p>③農業特区はあるが担い手が少なく耕作放棄地もあるが。</p> <p>④要望してもお金がないからと言われる。養父市の財政は苦しいのか。</p> <p>⑤防災監が設置されたが、どう変わるのか。</p>	<p>①料金他ほぼ現状どおり。新規契約には加入金が必要。全戸に無料で災害無線を設置する。地元説明会が行われる予定である。</p> <p>②3カ国語表示看板を設置。事業を観光協会に委託しているが、天滝の歩道改修等は市直営で実施。1カ所の観光スポットでなく、地域全体をPRする取り組みが必要。竹田城効果もある。</p> <p>③養父市に来たら規制緩和され、6次産業化への期待もある。地域に密着した進出を期待したいが見えない部分がある。担い手不足は集落単位で解消を。</p> <p>④好転しているが、自主財源は23.1%。行革で市民の皆さんが痛みを分かち合ってきたと思う。</p> <p>⑤防災業務の経験もあり、専門的見地から従来計画をさらに綿密に推進すると思うが、議会にはまだ報告がない。</p>	
意見交換会での質疑	<p>①西谷は無医村だが八鹿病院の存在がある。いま市民不安があるが。</p> <p>②減反政策は他集落の田を耕作すると耕作放棄地に減反加算され、水稻面積を減らすことになる。筏区内外の面積も加わるし、自家用も対象になると、小集落で減反が増え耕作放棄地が広がる。市で調整できないか。</p>	<p>①議会に管理者を呼んで実態を聞き、その後の状況も聞いた。病院議会は対立関係の医師とも会う。</p> <p>②減反政策開始以来属地でなく属人になっている。他集落から耕作してもらっても、名義人に換算して減反数値が決まる。現行方式で行かざるを得ないと思う。耕作放棄地も加算され面積も増える。双方に言い分があり難しい。</p>	
その他	なし	なし	
備考 (今後の改善点等)			
なし			

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 26 年 11 月 14 日

報告者 2 班 班長 西村 禮治

